

「2020 東京」へジュニア強化に全力

2014年度

県協会表彰

2014年度広島県ハンドボール協会表彰の受賞者が決まった。

一般から小学生までの優秀選手のほか、仁川アジア大会銀メダルを獲得したおりひめジャパンの松村杏里(メイプルレッズ)とピーチカップ小学生大会で優勝した男子県選抜を特別表彰した。



今後もし活躍を

◆表彰者一覧◆

《一般》

- 男子 今井 昭仁(湧永製薬)
- 女子 高山 智恵(広島メイプルズ)

《大学生》

- 男子 広瀬 耕(広経大)
- 女子 正木 志歩(広島大)

《高校生》

- 男子 実藤 大地(向原高)
- 女子 上田 らん(山陽高)

《中学生》

- 男子 河原 脩斗(メイプルズニア)
- 女子 金川 依央(甲田中)

《小学生》

- 男子 小先 勇輝(安芸高田HC)
- 女子 池元 千紘(HC向原)

《優秀指導者》

- 高校生 青戸あかね(山陽高)
- 中学生 森山 透(修道中)
- 小学生 林原 洋仁(呉ジュニアHC)

《優秀審判員》

- 国際 檜崎 潔(広経大職)

《協会推薦功労者》

- 呉協会 瀧川 侃志(呉協会副会長)
- 広島市協会 関 穂奈美(桜が丘高)

《特別表彰》

- 松村 杏里(広島メイプルズ)

第17回仁川アジア大会銀メダル

小学生広島県選抜男子

第21回ピーチカップ小学生大会優勝

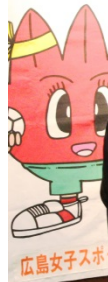
メイプルレッズさらなる高みへ 指揮官交代

呉 成玉⇒金 明恵

選手ではエースとして5シーズンにわたって活躍、日本リーグの得点王やベストセブンに輝いた宋海林が退部。コーチ兼任だった大前典子が選手生活に別れを告げコーチ専任になる。

そのほかではGK山口舞が出場機会を求めて飛騨高山に移籍するほか、主将の増田寛那、高橋佑奈や故障の木村あい、加藤藤も退部する。

宋ら退部 大前はコーチ専任



力を合わせ日本一奪回

広島メイプルレッズの指揮官が呉成玉監督から金明恵監督に代わった。金新監督は1986年、北國銀行に選手兼コーチとして韓国から来日、立山アルミヤトヨタ紡織九州でコーチなどを歴任した。会見で金監督は「単純なミスを減らし、みんなで力を合わせ日本一を目指す」と、女王復活を誓った。5月の全日本社会人選手権の初采配へ6日から始動の予定。

■山陽の選抜大会成績■

▽1回戦

- 22(10-19、12-16)35今治東(愛媛)

第38回全国高校選抜大会は3月25日から愛知県豊田市のスカイホール豊田などで開かれ、2年連続出場した女子の山陽は「全国1勝」を目指したが、今治東中等教育に敗れ、初戦敗退した。

山陽は前半半ば過ぎから連続失点。後半も追い上げたが、連続失点が流れを引き寄せられなかった。塩谷が7点、三宅4得点、山下、塩田、平川各3点、板倉、木村各1点。ほかは齋藤、吉政。

山陽、遠い「全国1勝」
選抜大会 追い上げも届かず

▽男子1回戦=呉中央

- 13(4-19、9-17)36光成(北海道)

▽女子2回戦=甲田

- 13(4-16、9-13)29氷見十三(富山)

春中、男女とも初戦突破できず

第10回春の全国中学生選手権は3月26日から4日間、富山県氷見市の氷見ふれあいスポーツセンターなどで開かれた。広島からは男子が呉中央、女子が甲田が出場したが、ともに初戦突破はならず姿を消した。いずれも前半の大量失点が響き、追い上げもならなかった。

安芸高田 悔しい逆転 準優勝 JHLジュニアリーグ

▽決勝 ●12(5-4、3-6、4-8)18北陸電力

JHLジュニアリーグ西地区で優勝した安芸高田が東地区の北陸電力と3月27日、日本リーグ男子プレーオフが行われた駒沢体育館で決勝対決した。一時はリードしたが、残念ながら逆転され、12-18の6点差で涙のみ、初の決勝進出・初優勝には届かなかった。



中野 駿介(小田東小5年)
大田 義也(小田東小6年)
笹村 拓斗(小田東小6年)

首藤 岳飛(甲立小6年)
前川 大樹(小田東小6年)
原田 晋平(甲立小6年)

小先 勇輝(小田東小6年)
首藤 颯汰(甲立小5年)
姉ヶ山 怜(小田東小5年)

お知らせ

「広島レポート」県協会

HPでご覧いただけます

「ハンドボール 広島レポート」は県協会HPでご覧いただけます。http://www.ocn.ne.jp/~hiro-hba/

また、トップス広島のHPにもアップされています。www.tops-h.net/ どうぞご利用ください

会長に湧永氏、理事長に堀口氏

県ハンドボール協会は3月23日、中区SCで理事会・総会を開き、新会長に湧永寛仁副会長、理事長に堀口仁志常任理事の昇格を決めた。堀口氏は2000年度に県協会理事となり翌年度から常任理事。



■堀口理事長の抱負
県協会規約に則り確実に事業展開していきま。そして「普及と強化」を重点目標として、協会の皆さんのみならず、ファンの皆さんと一緒にハンドボールを盛り上げていきたいと思っています

湧永6位



地元最終の合成戦を終え声援に
 応える湧永の選手（2月23日・東区スポーツセンター）

看板の“山脈”に崩れ 東日本に連敗

■女子レギュラーシーズン最終成績■

	勝数	引分	敗数	勝点	得点	失点	差
①北國銀行	18	0	0	36	498	297	201
②オムロン	14	0	4	28	444	288	156
③メイプル	13	0	5	26	466	356	110
④ソニー	9	0	9	18	422	383	39
⑤三重	4	1	13	9	373	441	-68
⑥飛騨高山	4	1	13	9	299	422	-123
⑦HC名古屋	0	0	18	0	211	526	-315

（注）5、6位は当該チーム間の得失点差による

日本リーグ男子は大同特殊鋼がプレーオフを4年連続で制して幕を閉じた。創設時から唯一、参加している湧永製薬はレギュラーシーズンを6勝2分け8敗で終わり、史上最低の6位となり、15年続けていたプレーオフ進出を逃した。POに進出できなかったのは3度目。

また、39回を数えるリーグのうち負け越しは16回大会と今回わずかに2度と不名誉な記録となった。

前々回から参加したトヨタ自動車東日本に連敗したのが大きいのしかかり、豊田合成にも取りこぼしたことも順位に影響を及ぼした。来季での巻き返しを期待したい。

6勝2分け8敗

県室内総合選手権

県室内総合選手権は3月14、15日に広島グリーンアリーナであり、一般から小学生まで高校女子と小学生高学年女子を除く9部門に34チームが参加した。目についたのがメイブルジュニア。中学生男女と小学生高学年男子、同低学年混成の4部門すべてで1位となった。

※高校男子

▽予選リーグA組

呉 工 24 (10-3, 14-2) 5如水館
 向 原 42 (23-10, 19-8) 18呉 港
 呉 工 28 (11-5, 17-3) 8呉 港
 向 原 38 (22-2, 16-6) 8如水館
 呉 工 19 (11-10, 8-9) 19向 原
 呉 港 27 (13-1, 14-2) 3如水館
 *順位 ①向原2勝1分け②呉工2勝1分け③呉港1勝2敗④如水館3敗(1、2位は得失点差による)

▽予選リーグB組

広 22 (10-4, 12-6) 10賀 茂
 廿日市 19 (10-4, 9-8) 12西条農
 広 21 (13-10, 8-2) 12西条農
 廿日市 19 (10-5, 9-3) 8賀 茂
 広 16 (7-10, 9-3) 13廿日市
 賀 茂 17 (8-4, 9-10) 14西条農
 *順位 ①広3勝②廿日市2勝1敗③賀茂1勝2敗④西条農3敗

▽準決勝

向 原 25 (14-12, 11-11) 23廿日市
 呉 工 18 (11-4, 7-7) 11広

▽決勝

呉 工 28 (16-12, 12-15) 27向 原
 △5-8位決定戦
 呉 港 25 (12-10, 13-10) 20賀 茂
 西条農 33 (13-4, 20-3) 7如水館

※中学生男子

▽1回戦

メイブル Jr 49 (21-4, 28-6) 10吹上少年団
 呉シニア 42 (18-8, 24-2) 10廿日市HC
 △3位決定戦

▽決勝

廿日市HC 22 (10-10, 12-8) 18吹上少年団
 △決勝
 メイブル Jr 45 (24-12, 21-15) 27呉シニア

※中学生女子

▽決勝

メイブル Jr 27 (15-7, 12-11) 18亀山中

メイブル Jr 小・中4部門を独占

■男子レギュラーシーズン最終成績■

	勝数	引分	敗数	勝点	得点	失点	差
①大崎電気	16	0	0	32	524	395	129
②トヨタ車体	14	0	2	28	527	412	115
③大同特殊鋼	10	1	5	21	405	372	33
④琉球コラソン	7	1	8	15	420	409	11
⑤トヨタ東日本	7	1	8	15	436	472	-36
⑥湧永製薬	6	2	8	14	446	435	11
⑦豊田合成	5	0	11	10	406	480	-74
⑧トヨタ紡織	3	3	10	9	411	450	-39
⑨北陸電力	0	0	16	0	346	496	-150

（注）4、5位は当該チーム間の勝ち点による

日本リーグ個人賞が決まり、湧永製薬からは樋口隆が27得点を挙げて棚原良（琉球コラソン）とともに7桁スロー得点賞に輝いた。ともに初めての受賞。

MVPは優勝の大同特殊鋼・久保侑生が選ばれた。

樋口、初の7桁スロー得点賞

■湧永レギュラーシーズン戦いの跡■

- 25 (15-16, 10-8) 24琉球コラソン
- 25 (11-14, 14-15) 29トヨタ車体
- 27 (15-15, 12-15) 30トヨタ東日本
- 34 (15-8, 19-8) 16北陸電力
- ▽28 (16-17, 12-11) 28大同特殊鋼
- 27 (12-14, 15-18) 32大崎電気
- 26 (16-7, 10-18) 25トヨタ紡織九州
- 27 (12-15, 15-10) 25琉球コラソン
- 31 (16-17, 15-21) 38トヨタ車体
- 27 (15-17, 12-14) 31豊田合成
- 30 (11-19, 19-23) 42大崎電気
- 21 (11-15, 10-9) 24大同特殊鋼
- 27 (10-15, 17-13) 28トヨタ東日本
- 31 (17-10, 14-9) 19北陸電力
- 37 (19-7, 18-14) 21豊田合成
- ▽23 (8-12, 15-11) 23トヨタ紡織九州

※小学生高学年男子

▽リーグ戦 メイブル Jr 2
 2-14呉 Jr A、メイブル Jr 13-13呉 Jr B、呉 Jr A 11-8呉 Jr B

*順位 ①メイブル Jr 1勝1分け②呉 Jr A 1勝1敗③呉 Jr B 1分け1敗

※小学生低学年混成

▽リーグ戦 メイブル Jr 1
 8-8呉 Jr、メイブル Jr 30-0スナッピーズ呉 Jr 24-1スナッピーズ

*順位 ①メイブル Jr 2勝②呉 Jr 1勝1敗③スナッピーズ 2敗

※一般男子A組

▽1回戦

広島大 18 (7-8, 11-11) 19安芸高田HC
 広経大 24 (13-11, 11-9) 20AWC
 △3位決定戦

安芸高田HC 23 (11-10, 12-12) 22AWC
 △決勝

広経大 19 (8-10, 8-6) 7MTC3-2) 18広島大

*一般男子B組 ①呉HCR 2勝②広島HC 1勝1敗

③広工大 2敗

*一般男子C組 ①修道クラブ 2勝②HC HIRO 1勝1敗③修道大 2敗

*一般女子 ①広経大②瀬戸内レディース③安田女大④三津田OB